

「わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしの
 ところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、
 わたしの言い送った事を成功させる。まことに、あなたがたは
 喜びをもって出て行き、安らかに導かれて行く。」

(イザヤ 55:11)

メリークリスマス！ 今、ニューヨークに向かう飛行機の中です。映画「Kingdom Come」の関連でミーティングに向かうところです。皆さんにお祈りいただいた白馬セミナーは、今年も銀世界となり、680名もの参加者の皆さんとともに、主に祝福された時となりました。私は、長男の真祈史と一緒に参加でき、皆さんとの交わりひとつ、ひとつに、とても感動し、新しく励まされるときを持ってました。皆さんのご参加とお祈りを心から感謝します。祈っていただいた三浦綾子さんの「したきりすずめのクリスマス」も、祝福の中で刊行できました。クリスマスも近づき、世界全体が、イエス様に心を向けやすい季節になりました。多くの魂が立ち返るときとなり、皆さんの上にもますますの祝福が増し加えられることを心から祈るように示されています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

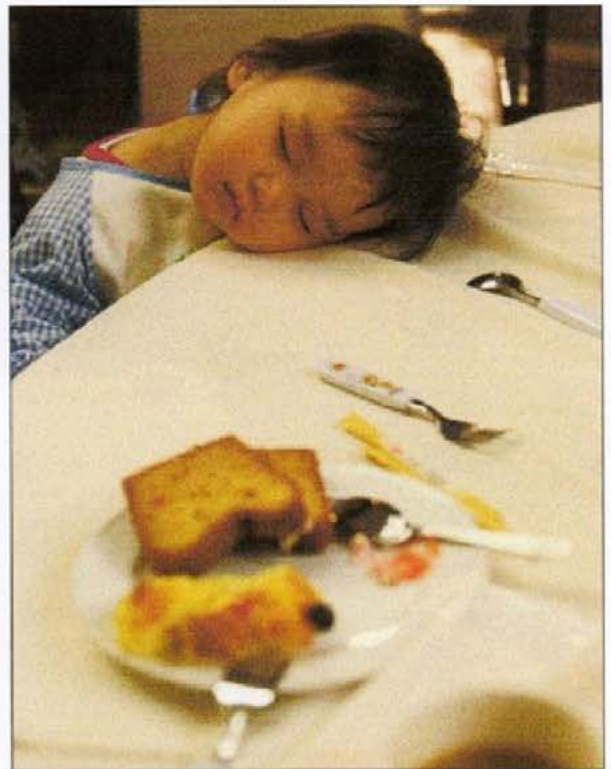
良き変化—韓国でのチャーチ& ホームスクーリングセミナーに招かれて

白馬セミナーには、前夜にソウルを発ち、東京経由で、当日入りするスケジュールとなりました。ロサンゼルスでの映画のミーティングに続き、韓国でのミーティングに臨んだためです。韓国は、8年ぶり、5度目ですが、今回、すごく変わったな～、良くなったナーと思うことができました。「チャーチ&ホームスクーリング」についての空気です。今回、自己紹介の機会がたくさん与えられましたが、映画に関しての紹介と共に、チアについても毎回、ふれました。

その時の、皆さんの興味の示し方が1、2年前の韓国の方々の反応とまったく違う、良い感じがしました。韓国は、日本と似ているというか、日本以上の学閥というか、学歴信仰がある国のような感じです。どこの高校、時にはどこの中学を出たかまで問われると聞きました。それで、前は、チャーチ&ホームスクーリングの話をして、「あまり聞いたことない」とか、なにか、懐疑的な反応や、関心のなさみたいな冷ややかな反応が多かったと思います。でも、今回は、「チャーチ&ホームスクーリング」と言うと、最もトレンドイというか、注目的、関心がぐっと湧いて、好意的なまなざしと興味津々、ぜひ聞かせてほしい！という熱い期待感が、多くの方々から、伝わってきました。

2万人のメンバーがいるという、A教会で、牧師の方々約10名に映画「Kingdom Come」のプレゼンテーションのときを持ちました。初対面でしたし、最初、硬い雰囲気でした。でも自己紹介の途中、「チャーチ&ホームスクーリング」にふれたとたん、みな、ぐっと身を乗り出してきました。

その教会では、今年から、4名のフルタイムスタッフを抱えるホームスクーリング部門を作り、教会内で、この2、3年で始めた150人あまりのホームスクーラー家族をサ



「平安」...、白馬にて

ポートし、週1回のサポートグループ等を行っているのだそうです。チア・にっぽんのことも知っておられました。映画のビデオを見せようとする、「チアのビデオがありますか？ 良ければ、それを先に見たい！」とリクエストされ、紹介しました。ミーティングは俄然、アットホームな雰囲気になり、その後の映画のプレゼンテーションも良い雰囲気の中で進みました。代表の牧師さんは、その場で、映画のために、すぐにいろいろな方に電話をかけてくださり、いくつかのミーティングをアレンジしてくれました。

今回のミーティングは、「韓国のさだまさし」的な存在



韓国・ホームスクーリングセミナー（ソウル市）

で、韓国の大人の方であれば誰でも知っているというクリスチアンの歌手のAさんが、コーディネートしてくれていました。でも金融危機の中で、伝道を目的とした大型の映画プロジェクトの話を持っていく中で、苦戦され、「Kingdom Come」への確信が揺らいでいたそうです。そのAさん（実際に日本で、さだまさしや森山良子らと共演されているのですが）は、代表の牧師らが燃えて動いている姿に心が燃やされ、再確信のときとなったそうです。Aさんは、その午後以降、いろいろな方とのアポイントを取ってくれ、ミーティングの数が増え、私の来日のスケジュールを、急遽、白馬の前日の夕方まで、延ばさなければなりませんでした。

午後、A教会から電話があり、明日、100名あまりのホームスクーラーたちが集まるので、「チャーチ&ホームスクーリングセミナー」を行い、日本のチャーチ&ホームスクーラーの状況からチャレンジしてほしいということになりました。ソウルに同行していたフィリップ・ブローマンさんと共に、参加。集まったホームスクーラーの皆さんは、始めて3年未満の方がほとんどで、5、6年前のチアの集会のようでした。まわりで、行っている人がいない中、立ち上げられ、いろいろな困難をくぐっているんだろうな——と思い、なにか、涙が出てしまいました。

新しい霊 — 一気に変わるとき

1、2年前には感じなかった「良き変化」を大きく感



じる時でした。神様の御手は、すごく、時がきたら、一気に状況や慣習を変えてしまう、その力強い御手を改めて教えられました。そのセミナーの午後、さらに電話があり、ホームスクーリング部門の代表をしているリー牧師が、白馬に参加したいということになりました。もちろん、大歓迎！ 一緒の便で来日し、チアのオフィスに夜中に着き、朝早く白馬へ、そして、終わってから羽田空港へと送りました。リー牧師いわく、「白馬、すごくよかった」とのこと。韓国で、この1、2年起こっている変化。日本でのチアの働きも、まもなく10年めに入ろうとしています。必要な「変化」は、始まっている。もっと大きな変化が来る。神様の御心のままに。

聖書は言います。「わたしは彼らに一つの心を与える。すなわち、わたしはあなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしは彼らのからだから石の心を取り除き、彼らに肉の心を与える。それは、彼らがわたしのおきてに従って歩み、わたしの定めを守り行うためである。こうして、彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。」（エゼキエル 11：19）神様の方法とタイミングで、すでに新しい霊が与えられ、神様の目的で事が始められている。そのことを改めて思いました。

選ばれた民

今回も好評だったルーリオ博士と、いろいろと面白い会話ができました。

ルー博士「（今回、初めて参加され、大活躍している日本生まれの宣教師の）Cさんが、ここに集まっている参加者は、日本で最も信仰に燃えている人々だと言ってたよ。」

稲葉「うれしいな—。そうなんだよ。だって、日本人の多くは「人の目」が怖いんだ。「集団から離れること」も、恐れるんだ。神を恐れるよりも、人を恐れがちなんだ。チアのセミナーに来てる参加者たちは、その恐れを克服し、主に従おうと踏み出した人々、あるいは、踏み出すことを考えている人々なんだ。その意味で、Cさんが言っていることばは正しいよ。日本で最も主に従おうとしている人々の群れだよ。」

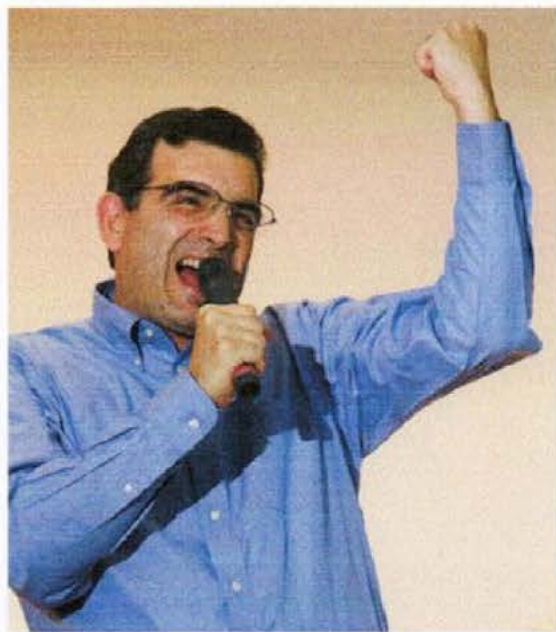
不完全な私たち。まさに「われ土の器なれど」ですが、神様の励ましのことばと受け止めました。

心ある日曜学校の先生の問いかけ

ルーさんの分科会の「コミュニケーション」が終わったときに、ルーさんと、その時の通訳者だった私のところに一人の方が質問に来られました。

「私は、日曜学校の教師をしています。子どもたちが、ことばも、行動も、ずいぶん、ひどくなってきていて、でも、日曜学校だけでは、限界も感じていて、どうしたらいいでしょうか」

ルーさん「日曜学校の先生方の、そのフラストレーション、よくわかりますよ。私の妻も、学校の教師でしたが、同じフラストレーションを抱えていました。一生懸命教えて良くなったな——と思っても、休みとかのあとは、前より悪くなって戻ってきたり。チャーチスクールの先



生も同じ悩みを抱えている方も多いと思います。聖書が言うとおり、鍵は親が握っています。先生方は、しつけや懲らしめが必要だと思っても、親の許可なくしては、限界があるでしょう。親が変わることが肝心です。でも、先生方の尊い犠牲や愛情は、親や子どもたちをサポートし、助けることはできます。

たとえば、その親御さんたちのためのセミナーを行うとか、このチアのセミナーとかに連れて来られるよう、誘ってみるとか。

でも、Dさん、今回、参加されていることは素晴らしいことです。ぜひ、親御さんたちのためにも、祈ってみてください。スタッフの皆さんと話して、次回、皆さんでおいでください。」

鍵となる親—その戦略的な意味

その熱心な教会学校の先生の純粋な思いに感動しつつ、ルーさんのことばを「その通りだなー」と思って訳していました。「親が鍵」、まったくアーメンです。その大切な親御さん、その親を助けようとする牧師さん、先生方、祖父母の皆さん、クリスチャンの皆さんに、主のみことばとメッセージをする、チアの働き。神様は、なんと戦略的に大事なポイントに、チアを置いてくれたのでしょうか！ そのような特権と使命を主が私たちに与えてくださっていることのすごさを改めて感謝しました。前述のBさんいわく、「最強の日本のクリスチャンたちの方々」を集めてくださって、次世代のポイントとなる親のあり方、そうした親をそれぞれの立場から支えよう、助けようという心を持った方々を応援できる恵みと意味の深さを思いました。

「諸国の民の間で、こう叫べ。聖戦をふれよ。勇士たちを奮い立たせよ。すべての戦士たちを集めて上らせよ。…回りのすべての国々よ。急いで来て、そこに集まれ。」(ヨエル 3: 9、11)

チャーチ&ホームスクーリングの強い目的

ルー博士とは、なぜ、日本の宣教が進まないのか、進めるためには何が大切かという話しもしました。東京に帰ってから、別のE宣教師がルー博士に、こう伝えたと話してくれました。

ルー博士「日本人のクリスチャンは、伝道しないから、進まない」と。

稲葉「そう言える側面もあると思う。でも、たとえば、チアに集まってくれている人々は違う方向に踏みだそうとしている人々だよ。チャーチ&ホームスクーリングの目的として、伝道という強い目的(1. 子どもたちの魂の救い、2. キリストの弟子の心を与える、3. 伝道・世界宣教)を掲げて、進んで来て、祝福を受けてきてるよ。前に話した親の模範から変わろう！ 悔い改めて、聖霊の力もらって進もう！と、皆で励ましながら進んできたよ。白馬の最後の集会で僕が話したことは、この3つの強い目的、チャーチ&ホームスクーリングの目的についてなんだ。そして、伝道には失敗がないということ。アメリカは、平均7回、福音を聞いて信じるというデータがあるけど、日本は、多分、平均40回かな。その意味では、20番目に福音伝えた人も、39番目に福音伝えた人も、人間の目には、「伝道、成功しなかった。失敗した」と思うかもしれない。でも、神様の目には、どれも大事。神様の命令に従って、勇気を持って、伝道したことを喜んでくださる。結果は、聖霊にゆだねて。逆に相手がたくさん信じたからといっても、人間業ではないのだし、威張ることでもないし。今、チャーチ&ホームスクーリングに集中して、フルタイムのようにできなくても、それはそれで伝道だし。まず、できることからやろう！ チャンスをイエス様に祈って求めよう！ そんな話しをしたよ。そして、皆さん、勇気と心をもって応じてくれたと思う。その熱さを感じたでしょう？ 日本の過去や宣教の一般論はともかく、ここから始まっているよ！ だから、ぜひ、祈り続けてください。」

ルー博士「そのように感じた。すごい、ことだと思う。ぜひ、日本にもう一度、来たい。」

稲葉「2011年までは、大体、スピーカー決まっているから、2012年の春のコンベンションはどう？ 今回、コマ数の関係で、頼めなかったトピックもたくさんあるし。前回、関西にも行けなかったし。」



ルー博士「ぜひ！」

Q&Aのやりとりの中から

毎回、入門コースとして、分科会の一つで、「必ず聞かれる20の質問」を行っています。基本は同じで、小グループのものも数えれば、多分、この10年で400回以上、行ったコースだと思います。でも、その時の参加者の質問や、社会情勢、聖霊の導きで、毎回、少しずつ切り口が変わります。今回もユニークなやりとりがいくつかありました。

その一つは、学校における伝道ということでした。クリスチャン、地の塩、世の光として、公立校に送り、伝道させるべきとの意見を言われたが、どうかという質問でした。また、純粋培養せずに、社会の悪も、理解させる必要もあるのでは、という、社会との接点についての質問でした。

その時、私に示されたことは3つ。

1. 「伝道」への志は素晴らしい。しかし、聖書的に行う必要がある。

2. 聖書には、子どもたちを異邦人の中に浸らせて、伝道するように示した事例は、一つも出てこない。チャーチ&ホームスクーリングの強い目的は、上記のとおり、伝道にある。でも、子どもの場合は、親の指導や判断、影響力の及ぶところでの伝道。公立の学校に送り込み、異邦人の流れに任せることではない。

もちろん、実際に、学校で、子どもたちをキリストに導いた事例もある。だから、その事実がないとは言えない。その一方、子どもたちを学校に送り、異邦人の影響の中に浸し、大切な子どもたちの魂を失ってしまった事例も、山ほどある。アメリカでは、熱心な教団として福音派の中で最大規模の南部バプテスト教会の総会では、約90%の子どもたちが、大学に送って、実家に帰ってきた時には、父母に反抗的になる、キリストとの関係を失うといった状況で戻ってきたデータが出て、全員、ホームスクーリングすべきとの決議案も出されました。その案は、今も継続審議されていますが、アメリカで聖書教育に熱心だとされる教団でも、この状況です。

今回のアメリカの大統領選挙を見ても、アメリカの信仰

のレベルが甚だしく低下し、深刻なレベルであることが、わかると思います。かつて、モルモン教徒が、共和党の候補者の有力候補になることは考えられないことでした（2位で、途中で断念しましたが）。選ばれた共和党の候補者は、信仰面では、ほとんど明確とされていないレベルの方で、結局、惨敗しました。当選したオバマ大統領の信仰の心もとなさは、周知の事実です。こうした中で、志あるクリスチャンの中では、「教育」のあり方・その危険性が痛烈に見直されています。

3. ゴミの汚さをわからせるために、ゴミ箱を頭からかぶらせる必要はない。麻薬の恐ろしさを理解させるために、大麻や覚醒剤を少し体験させるなどの必要はないし、危険である。だから、聖書は、「世と世の中から分離せよ」と命じます。もちろん、ノンクリスチャンとのすべての接点を絶つわけではありません。それも、聖書は記しています。子どもが親、または、親に委ねられた教師の責任の元に、接していく必要があるということです。

たとえば、鳥インフルエンザに感染した人々、その人々は絶対に、助けられるべきです。そのために、医療班や行政的な支援を含め、様々なサポートがなされるべきです。でも、そこには、医師や看護師など、病原への専門知識を持ち、きちんと防備した上で、派遣されるでしょう。無防備の子どもが送られて、助けようとした場合、その多くの子どもたちは、感染して、命を失う危険にさらされ、助けが必要な側になって戻ってくることでしょう。それが、上記の90%以上の子どもたちの魂が感染してしまう、アメリカの現状の理由と分析されています。日本は、どうでしょうか。どうしても、フルタイムのチャーチ&ホームスクーリングには踏み出せない方々もおられると思います。ご主人の賛成が得られてないとか、様々な理由で。もちろん、チアは、どんな状況の方々も心から応援しています。その方々も、ぜひ、週2時間、4時間からでもいいから、しっかりと親子で最大限、防御して、祈って、送ってください。もし、ご夫婦で考えつつ、まだ、とまどっている方は、ぜひ、聖書が命じる、教育の基本であるチャーチ&ホームスクーリングに踏み出してください。申命記6章1-7節ほかで言うとおりに。

今回も、そんなやりとりほか、たくさんのごことで、私も啓発されつつ、良きときが過ごせました。

「したきりすずめのクリスマス」発刊へ！

白馬セミナーの2日目の夜、刷り上がったばかりの三浦綾子さんの「したきりすずめのクリスマス」が、届けられました。クリスチャンの印刷会社で、私が学生時代からお世話になっているF社長さんが、雪道を片道8時間かけて東京から白馬まで、運転して持ってきてくれました。

このプロジェクトも、伝道の一つの手段として、5年前にスタートしたプロジェクトでした。ハリウッドの教会から、「日本の文化を紹介しながら、伝道もかねた劇の台本を作ってほしい」、そんな話が、妻の和紀子に持ち込まれました。第一弾が好評で、続いての話が来て、和紀子から、「なんか、いいのある？」と聞かれました。その時、私の心に浮かんだのが、「したきりすずめのクリスマス」(原題



は、「珍版舌切り雀」でした。1980年代後半～90年にかけて、三浦光世・綾子夫妻のドキュメンタリー番組の長期取材中、三浦家の居間に置かれていた一冊の台本が、それでした。これは、面白いナレー。短いけれど、三浦番組の本質がずばり、そして、希有の才能が凝縮されていると、強く思った本でした。それから5年。詳細は、6～7ページに書きましたが、主が扉、開いてくださったことを感謝しています。

白馬で購入くださった方々からは、良いコメントが寄せられ、また、翌週には、読売新聞、また、テレビは、北海道放送HBCをトップバッターに取材も入ってくださり、これも感謝です。主がこの武器を、大きく用いてくださるよう、ぜひ、お祈りください。皆さんも、ぜひ、読んでください。きっと、祝福されると思います。

祈りと謙遜

今示されること、それは、謙遜に祈ることです。やはり、自分の力では、何もできず。でも、主の力は、無限。主が成そうと思っていることは成されるのだと思います。

まずは、悔い改めから始まることを、たびたび思わされます。

「見よ。主の御手が短くて救えないのではない。その耳が遠くて、聞こえないのではない。あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。」(イザヤ59：1、2)

へりくだることを思います。「10%の神の声」を学べたことは収穫でした。

「一主の御告げーわたしが目を留める者は、へりくだって心砕かれ、わたしのことばにおののく者だ」(イザヤ66：2)

そして、人を恐れず、神を恐れて歩むことを、さらに教えられた1年でした。

「彼らの顔を恐れるな。わたしはあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ。一主の御告げー」(エレミヤ1：8)

神のみ業とご計画の前には、何事も立ちはだかれないこと、神様が言い送ったことは必ず、成功することも教えられました。

「主を求めよ。お会いできる間に。近くにおられるうちに、呼び求めよ。悪者はおのれの道を捨て、不法者はおのれのはかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。私たちの神に帰れ。豊かに教してくださるから。

『わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。一主の御告げー天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。雨や雪が天から降ってもとに戻らず、必ず地を潤し、それに物を生えさせ、芽を出させ、種蒔く者には種を与え、食べる者にはパンを与える。そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの

言い送った事を成功させる。

まことに、あなたがたは喜びをもって出て行き、安らかに導かれて行く。山と丘は、あなたがたの前で喜びの歌声をあげ、野の木々もみな、手を打ち鳴らす。いばらの代わりにもみの木が生え、おどろの代わりにミルトスが生える。これは主の記念となり、絶えることのない永遠のしるしとなる。」(イザヤ 55・8-13)

白馬にて、LITのみんなや子どもたちの成長ぶりにも、驚かされました。我が家でも、ジョセフの誕生、うれしかった。和紀子やジョセフへの皆さんの心からの祈りと応援、ありがとうございました。どれだけ、多くの皆さんが、真剣に祈ってくれたことでしょうか。そして、真祈史やエミリの成長も感謝。今日も2人と一緒に、ロサンゼルスの高齢者ホームで音楽伝道するための練習をしてたのですが、2人の成長ぶりにもとても励まされました。それぞれの両親のことも、皆さんに祈ってもらいました。僕ら自身の親の世代も、その両親(祖父母)にこころを向ける、「父のこころ、子に向け、子のこころ、父に向けて」(マラキ 4：6)のムーブメントですね。

皆さんとの2008年もまた、本当に大成功、幸せな、祝福された1年でした。来年の今日も、そのように心から思える1年であります。主のみ業に驚き、感謝し、いばらの代わりにもみの木が生え、おどろの代わりにミルトスが生える」永遠のしるしを見る1年であります。神様に祈っています。

「わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。まことに、あなたがたは喜びをもって出て行き、安らかに導かれて行く。」

皆さん、ご家族、教会、お仕事、各ミニストリーの上にあります祝福多きクリスマス、そして、新年であることを心から祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫



LIT、よくがんばった!

三浦綾子、最後の単行本

「したきりすずめのクリスマス」刊行！（続報・第二弾）

Amazon・クリスマス関連本に初登場8位（12月11日現在）でランクイン！

読売新聞（北海道版）2008年12月5日（金）
紹介記事が掲載されました！

クリスマスを前にして、三浦綾子文学作品の最後の単行本となる絵本「したきりすずめのクリスマス」が発行されました。新聞では、読売新聞社、テレビでは、三浦光世氏へのインタビュー取材も交えた北海道放送HBCの企画リポートらをスタートに、各社から、報道・取材いただき、心から感謝しています。おかげさまで、Amazonでは、クリスマス関連の書籍で初登場、全国8位にランクインし、即日、在庫切れ。書店向け等も、第二刷の必要が出る、好評のスタートとなりました。

本作品は、日本の昔話「したきりすずめ」をベースに、三浦綾子さんが書き下ろした戯曲が、ハリウッドで脚本化され、好評を得たことをきっかけに、没後10年めに入った今年、93作品の最後の単行本として絵本化され、刊行に到ったものです。

推薦文をくださった詩画家の星野富弘さんは、読後、「面白い。綾子さんなら、きっといじわる婆さんの役をしようと思って書いたのだろうと思う。生きるためのテーマが面白く、見事に書かれている」とコメントを寄せてくれました。

試作品を読まれた皆さんから、すぐに、よき反響が届き始めました。

「面白いー！ みんなにすすめます。（東京都 藤本麻矢子さん）」

「早速子供達に読み聞かせています（自分でさっさと読んでしまった子もいます）。声に出して読む時、また聞く人の耳にも何ともいえないリズム感と ユーモアのあるセリフに、子供達もひきこまれるようにして身を乗り出して聞いています。この本をたくさんのお友達にも伝えたいです。（三重 中島啓子さん）」

「面白い！ パリサイ人の姿が描かれているんですね。姦淫の女を石打しようとしている宗教者たちの姿を思いました。原罪が書かれてあるわけですね。（大手新聞社 A記者）」

作品の特徴

「知らされる三浦綾子文学の名作（代表作、珠玉の作品）」

「面白く」そして、「人間は、みな罪人で、赦しが必要な存在」、「自分は正しいとする姿が神の前には罪」という氷点に重なる「原罪」、そして、「キリストにある愛と赦し」という三浦文学の中心テーマが、子供でも誰でも

書名 著者 発行 頁数

クリスマスチャン作家の三浦綾子さん（1927〜99年）の全集（主婦の友社）の収録作品の中で、唯一、単行本化されていなかった「珍版舌切り雀」が、「したきりすずめのクリスマス」という絵本に写真に添って8日に出版される。

三浦綾子版「舌切り雀」

持ち帰ったおばあさんがキリストによって強欲の罪を許されたり、キリストに向かつて自分は正直者と自慢するおじいさんが高慢な姿をキリストに知らされ、悔い改めたりする。



大きになつづらの罪許したもう

全集から最後の単行本化

三浦さんが演劇台本として1981年に書きおろし、この年の12月に、旭川キリスト教会連合が主催する第10回市民クリスマスで上演された。しかし、単行本にはなっておらず、聖書に基づく教育関係書籍の出版を行っていたホームスクーリング・ビジョン（東京）が発行を企画。原作からせりふを抜き出して絵本とし、日本語のほか英語もつけた。初版は5000部印刷され、定価1680円（税込み）。大手書店などで入手できる。

わかるように書かれています。人間は、いかに生きるべきか、綾子さんの問いかけが、誰でも知っている日本の童話に乗せられ、子どもたちへの愛の思いに重ねられた深い作品です。私自身は、氷点、塩狩峠、細川ガラシャ夫人、銃口らと並ぶ、「知らされる三浦綾子文学の名作（代表作、珠玉の作品）」と言えます。

作品は、「信じたって悩んじゃう」等の作者、TV「ライフライン」のタイトル画像等を制作、チアの書籍の翻訳者としても活躍中のみなみななみさんが1年半あまりをかけて作画、ハリウッドの台本作家、アーデン・ルイスが英訳を担当しています。

ぜひご一読ください。きっと祝福されると思います。クリスマスプレゼントにも最適です！

「ハリウッドでの脚本化、知られる三浦文学の名作、作品の特徴ほか」 稲葉 寛夫

三浦家の居間で見つけた1冊の台本

NHKディレクター時代、1987年5月から、4年越しで三浦光世・綾子夫妻の日々を長期取材させていただきました。それは、NHKドキュメンタリー「光あるうちに—三浦綾子・その日々—」(1990年6月)として完結し、放送となり、その後、その頃の映像が「E.T.V特集 妻よ恐れるな 作家・三浦綾子と生きた40年」(2000年2月)、最近では「こころの時代 祈り・苦難と共に40年・三浦光世」(2008年10月)等で放送されることにもなりました。

4年間の取材の日々は、90あまりの三浦文学に接するときでもありました。その中で、忘れられない作品、取材中に三浦家の居間で見つけた、1冊の台本が、「珍版舌切雀」でした。とても面白いのと、ざっくり三浦文学の中心テーマが、描かれた秀作だな—とと思いました。

ハリウッドでの反響の中で

それから、15年の歳月が流れ、私は、NHKを離れ、ハリウッドで映画制作に挑戦する日々に導かれました。2004年の春、ハリウッドにて子どもたちの演劇などをプロデュース等していた妻の和紀子に、アメリカの友人たちから、日本を舞台にした劇の演出をしてほしいと依頼が届きました。

「何の劇がいいかな—」と聞いてきた和紀子を見ながら、私の心に浮かんだのが、三浦綾子作「珍版舌切雀」でした。早速、光世さんに連絡を取り、英訳の許可をいただき、和紀子が台本作家のアーデン・ルイスらと共に、英語版の台本準備に入りました。「ストーリーがすごくいい!」「これは子どもたちに読ませたい」ハリウッドの友人たちからの多くの反響をいただく中で、日本の人々にも読んでもらう必要がある作品ではないか、との思いにつながってきました。調べてみると、この作品だけは、綾子さんの93作品の中で、唯一、単行本化されずに残っていた作品でした。公私に渡り、ご指導

をいただき、お世話になった三浦光世・綾子夫妻への恩返しをしたい、そして、この作品を通して、三浦文学の真髓にふれてもらえたら、そんな志が与えられ、確信となり、正式に、三浦光世氏、そして三浦綾子記念文学館への出版許可依頼に至りました。

作品の特徴「知られる三浦綾子文学の名作(代表作、珠玉の作品)」

「面白く」そして、「人間は、みな罪人で、赦しが必要な存在」、「自分は正しいとする姿が神の前には罪」という氷点に重なる「原罪」、そして、「キリストにある愛と赦し」という三浦文学の中心テーマが、子供でも誰でもわかるように書かれています。人間は、いかに生きるべきか、綾子さんの問いかけが、誰でも知っている日本の童話に乗せられ、子どもたちへの愛の思いに重ねられた深い作品です。私自身は、氷点、塩狩峠、細川ガラシャ夫人、銃口らと並ぶ、「知られる三浦綾子文学の名作(代表作、珠玉の作品)」だと思っています。

ストーリー

演劇用の台本として1981年に三浦綾子さんが書き下ろし、同年12月に、旭川キリスト教会連合が主催する第10回市民クリスマスで上演されました。その台本を三浦光世氏の監修の中で、「したきりすずめのクリスマス」と改題し、絵本化しました。

ストーリーは、昔話の「舌切り雀」に、イエス・キリストが登場して展開します。雀のお宿から、お化けが入った大きなつづらを持ち帰ったおばあさんは、キリストによって強欲やいじわるの罪を赦されます。キリストに向かって、正直者と自慢するおじいさんの高慢な心と姿、聖書で言えば、「偽善者」と叱責されたパリサイ人にも重なる、その心には……。誰にでもわかる昔話に、愛と赦しと希望のメッセージが展開します。

白馬セミナーでお買い上げのチア会員の皆様へ

お買い上げ、誠にありがとうございました。会員の皆様へは10%オフの価格で販売いたしますが、会場でミスがあり、通常価格でお支払いいただけてしまいました。大変、申し訳ありませんでした。

その皆様へ、差額の170円券をFAX、またはメールで送らせて頂きたく思っています。チア会場での引き換え、または、今後のメンバー費、コンベンション等参加費、書籍購入費等で清算させて頂きたく思います。大変お手数ですが、チアにつぼん事務局(TEL 03-5155-9212、FAX 03-5155-9213、Email: office@cheajapan.com)まで、お名前、ご住所、電話番号をお知らせいただけましたら幸いです。どうぞ、よろしくお願いたします。



白馬セミナー08 アンケート パート1

・「恵みの」雪!も与えられ、息子も大喜び、チルミニもとても楽しんでいました。親の私たちも、ルー博士をはじめ、講師陣に与えられた御霊の知恵に励まされ、強められ感謝の3日間でした。ありがとうございました。ルー・プリオロ先生の基調講演も分科会も予想以上に(というより予想をはるかに超えて)素晴らしかったです。「キレる子どもたち」「神の知恵と親の情熱」は両書とも読ませていただいておりますが、内容をより深く理解させられる機会となり、私たちの問題点、反省点、悔い改めるべき点をはっきりと教えられる機会となり、感謝いたします。稲葉さんの基調講演も情熱いっぱい、もう一度原点に立ち戻らされました! 感謝です。宇佐神さんの「ヒューマニズム」の分科会ではヒューマニズムの狡猾さと国際連合とユネスコがいかにヒューマニズムの権化であるかその正体を知ることができ、現代の国際秘話組織も警戒すべきものと認識しました。(匿名)

・大きなチャレンジをいただきました。まずは自分の信仰が試され、吟味されるなと感じました。2日目、トーマス・ブローマン氏に4歳の娘がふざけてボールをぶつけて、「謝りなさい」と言ったのに謝りませんでした。トーマスさんは忍耐強く20分以上も娘をだいて、優しくさとし、「ごめんなさい」が言えるまで待ってくださいました。他ならあいまいに終わらせたことも、キリストの愛をもって厳しく対応していただいて感謝だし、感動しました。仙台の後、子どもとのディポーションをちゃんと始めることができました。今日を契機にもう一度HSの本質に近づけるように祈り求めます。もっと多くのクリスチャンにHSの良さを伝えていきたいです。講演、分科会等、とても良かったです。チアは明るくて良いです。稲葉さんのリーダーシップもあると思います。悲観的になりやすい文化の中で、希望を神様にいただいています。(匿名)

・5回目の参加です。白馬セミナーは私にとって主が与えてくださる特別な恵みの時間です。全国のホームスクーラー達とお会いすることができ、感謝です。サリー・カフマンさんの分科会に出席させていただき、「こんなに楽しいホームスクーリングがあったのか」と思うほどびっくりしました。主が私の目を開かせてくださいました。とても幸いでした。我が家のホームスクーリングでも用いさせていただきたいです。ありがとうございました。(大阪 那須百合美)

・大阪コンベンションでdebutし、サマーキャンプ、そして今回白馬、主人は今回debutです。もう涙があふれっぱなしです。大人のセミナーでも子どものプログラムでも、何故かわからないけど涙が…。主の愛unconditional loveを感じますね。チアのスタッフの皆さんが主に従い歩んでいる上にこの素晴らしいイベントが行われているのですね。感謝です。ルー先生、素晴らしいです。また来てほしいです。現実的で解りやすく必須の話でした。大感謝です。有り難う御座います。(奈良 マグナージョン・美佳子)



・2度目です。やはり元気をいっぱいいただきました。私たちはできることからコツコツやっています。私たち親が日曜クリスチャンではなく、日々クリスチャンとして地域や子どもたちと接することが大切。日々子どもと語り、祈り、協力し合う、賛美する、感謝する。ここからの実践ですが、これだけでも家族として成長できたと思ひ、感謝しています。ありがとうございました。(石川 大久保雅春)

・初めて参加しました。ホームスクーリングの様子や聖書に書いてある子育てのルール等、多くのことを学べました。4歳の娘がチルミニに参加し、毎回楽しいプログラムに喜んでいました。スタッフの方々の献身とすばらしい企画に心から主にあつて感謝します。フィリップ先生の「こらしめ」についての分科会は、私にとって最高のタイミングでした。これまでのやり方を見直し、夫婦で一貫して取り組みたいです。(兵庫 長谷川千寿子)

・今年も多くを学ばされ、反省もさせられ、また新たに家庭を立て直していこうという決意が与えられました。教えられたことを主人と分かち合い、私たちに必要なことを実践していきたいと思ひます。“何かが変わる”と信じて期待しています。読書感想文の表彰式では、多くの子どもたちが頑張っている姿を目の当たりにして、とても励まされました。子どもたちのあゆみの励ましにもなつたと思ひます。すばらしい機会を与えてくださったことに感謝します。子どもたちの賛美にも励まされました。(兵庫 釜井純子)

・主にある教育の励まし、重要性が新たに示され、とても恵まれました。子どもと雪遊び、そりすべりを初めてできてとても楽しかったです。具体的なみことばから、結婚、子育て、ホームスクーリングについて教えていただき、主のみことばをいっぱいいただき感謝です。いつもすばらしい先生を送ってください心から感謝します。(東京 月城美和子)

・娘（佑里子）が6年生になったので、修学旅行にと思い、今回初めて参加しました。美しい自然と、快適なホテル。主にある大家族、親戚が集まったみたいで、本当にリラックスして楽しめました。久しぶりに会うお子さん達も本当に良く成長していて感動しました。チアのスタッフの皆さん、チルミニのスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。稲葉さん、ピリポ先生の講演で、福音宣教の燃えるスピリットをもう一度もらいました。「ホームスクールはイエス様のためだったんだ…」とチアに来る度、軌道修正しています。特に稲葉さんの最後の話の中の「福音を語っても受け入れてくれなくても、がっかりしなくても良いんだ。39人ダメでも40人目の人で受け入れるかもしれない」というメッセージが残っています。太田先生、吉村先生、鈴木さん、堀井ファミリー（ビデオもあってとても楽しかったです）分科会も充実していました。映画のためにも、主に期待して続けてお祈りします。奥様の産後の体調の回復と、ジョセフちゃんの健やかな成長をお祈りします。（東京 藤原樹里）

・子育てでチャレンジを受けている最中だったので、毎回の学びで多くの示唆と励ましをいただきました！ イエス様に感謝。講師の先生方、スタッフの皆さん本当にありがとうございました。本の紹介・販売（特価での！）がとても良かったです！（兵庫 久保田聡子）

・稲葉先生、チアのスタッフの皆さま、ありがとうございます。チルミニで子どもたち、生き生きとしていっばい楽しめました。親もホームスクールするための大切さ再確認しました。算数の教え方で悩んでいましたが、具体的なアドバイスをいただき、目が開かれました。感謝です。（石川 田中知子）

・いい学びになりました。今から私もホームスクーリングをしたいと思っているので、いろんな面で助けになりました。実践的なことを聞くことが出来て良かったです。（岩手 チェ・ジェソン）

・稲葉さんや丸森の人達、主を愛している方々と久しぶりに出会えて、とても良かった。こういう人になりたい！と思いました。主を愛し、主を信じて全ての不可能を打ち砕き、神に従っていく者、またそういう世代に属して生きていきたいです。（長野 清野耕地）

・白馬セミナーでは、本当の神様がこの世に生きていて、働かれていて、私と変わらない普通の人と共にいて交わってくださる方だと言うことを、動かさない現実として見ることができます。今回また一歩進んでわかったのは、その神様は本当に優しい優しい方だということでした。神様は従うべき方で、そして罪には決して妥協しない正しい方ですが、でもこの神様のこの上ない優しい懐れみ深いお取り扱いを受けた証を聞くとき、その畏るべき神様に心から従いたい！と言う思いがあふれてくるみたいでした。それぞれの講演で、神様が本当に一人一人に誠実に答えて、見離すことなく、一緒に歩いてくださっているのを見せていただけたのが本当に本当にうれしかったです。鈴木さんの分科会に毎回出ています。神様の現

実を見せていただいています。聞いているとき、聖書の奥義を聞いていると思いました。本当にこの素晴らしい神さまが、特別じゃない普通の無力な人と共に生きてくださるという聖書の約束は本当のものだったんだ！と思って、ただすごいと思って、そして本当に嬉しかったです。（長野 長瀬真理子）

・お風呂や雪遊びがとても楽しかったです。親と子供が共に神に仕える為にどうすれば良いか色々具体的に話が伺えて大変良かったです。（東京 渡邊奈津子）

・楽しかった+（プラス）とってもホームスクーリングについて考えられました。（香川 石綿茅恵）



・霊肉共に満たされました！ 本当に本当にありがとうございました。稲葉さんはじめスタッフの方々の献身、犠牲はいかほどのものか、霊的、肉体的、金銭的に…申し訳ない気持ちでいっばいです。まわりにホームスクーラーが全くいないので、子どもがこの白馬セミナーをとても楽しみにしています。2泊3日お友達と交わりさんまい!! 子どももいつも、心満タンに満たされて白馬を後にします。感謝です!! 6年前大反対だった主人も今は何と“ホームスクーリングして良かったね”と言っています。神様に感謝、祈っていただいたたくさんの方に感謝です！ 主人は1日目の講演から“これを聞いただけで白馬に来た意味がある！”と言っていました。一気に目覚めすぎて私の方がとまどってしまいました。（匿名）

・毎回良い刺激を受け、励まされます。発足時からの“熱さ”が決して冷めていないのがうれしいです。(奈良松本明)

・来てよかったです。なかなか道が開かれず来ることができなかつたり、途中からの参加になったりでしたが、今回は全日程の参加をすることができました。親としてあらためて教育の大切さ、目的を再確認し、力づけられました。すばらしい講演でした。全て聖書に基づく教育の重要性を理解できました。(鳥取 三島潤三)

・今回2回目の参加です。我が家はまだチャーチ&HSは始めていませんが、より深くチャーチ&HSのすばらしさを知ることができました。我が子の教育はその親が責任を持って行うよう主が命令されているという言葉がさらに私の中に深く示されました。シングルファーザーという状況もあり、なかなか踏み出せない環境ではありますが、いつもその言葉を心に留めて神様から託された親の仕事をいつも神様に祈って尋ねながら行こうと思いました。神様が計画されたときにHSを始められるように準備をしておこうと思いました。聖書の視点で行う教育。まさにこれが完全に的を射たものであることが良く理解できました。本当にありがとうございました。特にルー博士のお話がとても心に残りました。子供中心の家庭になっていたことを示されました。ホームスクーラーの分科会では少人数と言うこともありまして、とてもアットホームな感じで良き交わりが出来て良かったです。(匿名)

・チアのマガジン、セミナー等を通してチャレンジを受け、確信をいただき、ホームスクールを始めて1年が経ちました。恵みで始めたはずなのに、いつの間にか子どもたちの成長に焦りや不安を感じ、最近では迷走している気がしていました。今回のセミナーに参加させていただいて、私は1つの重要なことに気付かされました。それは子どもたちを御言葉で養うということをしていなかったのです。それがこのホームスクールの醍醐味のはずだったのに、毎日のやるべき勉強や仕事を優先させ、御言葉を読む、学ぶ、暗唱する等は、お飾り程度だったので



す。子どもたちの靈性や心は正直で、従順を学ぶどころか御言葉抜きの訓練は喜びに繋がるはずはなく、かえってかたくなになってしまったのです。参加した分科会や食事の時同席した方の話の中で、何度も耳に入ってきたのは聖書の時間が一番重要で、一番時間をかけてやるべきであるという言葉でした。私は一番肝心なことをしていなかったことに気づき、いや気付かせてくださった主に本当に感謝します！ 白馬セミナーに参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。これからが本当のスタートです！ (愛知 柿本ひかる)

・毎年主の家族に会えてうれしく思います。普段の生活の中で、最近職場での攻撃が激しく、疲れていましたが、たくさんの兄弟達に、先生方に、また主に励ましを与えられました。感謝しています。稲葉先生のお子さんが生まれて、とてもうれしく思います。私たち家族で祈っていました。私たちも来年5月に5人目が与えられます。先生が一所懸命主に仕えている姿を見て、励まされています。ありがとうございます。(千葉 井澤紋庸)

・念願かない、初めての参加でした。白銀のゲレンデ、北欧風ホテル、100種類のバイキング…！は、もちろん期待通りのすばらしさでした。そして全国から同じ志に燃える多くのクリスチャンの方々。大きな励ましを受けました。7年前、主がチャーチ&ホームスクールの存在を教えて下さったときは、まだ独身で子どももいなかったのですが、「0」の私をも導いて用いてくださり、主の御業を味わう経験をさせていただいています。今回の参加で、また、ビジョンが与えられたときの新鮮な思いに立ち返ることができました。宇佐神先生の「環境問題」についてのセッションは、本当に勉強になりました。中学理科を教えています。聖書の視点からこの内容をもう一度とらえ直すことができ、本当に感謝でした。2歳の娘もナースリー室で楽しく過ごさせていただき、本当にありがとうございました！ (兵庫 船越紗矢)

・ルーさんありがとうございました。ルーさんの御言葉による確信のメッセージは感謝でした。また1つ私を大きく変えてくださるイエス様からのメッセージと受け止めて主の弟子としてがんばります。(匿名)



・2度目の参加です。去年よりも、自分の中に入ってくるものが多かったように思います。聞きたい講演が同じ時間になっていて、どちらかを選ばなければならなかったのが残念でした。でもCDで聞きます。(匿名)

・たくさんの若者たちとたくさんのすばらしい交わりをもてて本当によかったです。これからが楽しみです。がないです。(長野 竹内聡)

・恵みの多いひと時でした。直接の人との出逢いと人格にふれ、そこに聖霊様が働かれることを感じる事ができる恵みに感謝です。それぞれの方から貴重なお証しをいただきました。また自分が発表する機会も貴重なものでした。感謝です。(北海道 須田一馬)

・LITに参加させていただいた娘たちをふくめ、子ども達も楽しくて楽しくて帰ることを寂しがっている姿、うれしく眺めていました。大人の私たちも多くの出会いが与えられ感謝です。ルー先生のお話、新たなチャレンジ多きメッセージ、感謝です。成長し続けるものでありたいと強く思われています。(北海道 須田牧)

・リラックスもでき、学ぶこともでき、子どもと向き合うこともでき、ステーキもたくさん食べられて(笑)最高! 子どものお守りで参加できなかったところは後ほどCDなどで学びたい。(愛知 柿本満・ひかる)

・チルミニのプログラムが一部新しくなっていて、先生達の、子供たちを飽きさせない工夫がうれしかったです。数年ぶりに再会した方々との貴重な交わりも感謝でした。最近HSする中で神様に問われていることを具体的に確認するための分科会に出られたことや、講師の方との個人的な交わりに感謝でした。(愛知 森山有佳子)

・霊に燃え、満たされたセミナーでした。なぜか悔い改めの涙、感動の涙、涙涙のセミナーでした。大変なことたくさんありますが、基本に戻り、地道に主に頼りつつ励みます。素晴らしかったです。(匿名)

・講師のお話が、将来の自分にとって為になることだったので、すごく良かったです。(宮城 吉村夏美)

<子ども・LITアンケート>

・とても楽しかった。来年のサマーキャンプや白馬セミナーにも参加したい。毎回来ていますがいつも楽しんでいます。(菊池雄太郎 14歳)

・ソリすべり&ごはん&運動会が楽しかったです。(上村あゆみ 13歳)

・とてもよかったです! 毎年どんだんたのしくなってきた、ずっと行きたいと思います。(森山佳音 9歳)

・雪でいっぱい遊んだり、LITのお姉さんお兄さんが優し

くしてくれたので楽しかったです。(田中光 12歳)

・チルミニの聖書の話もわかりやすかったです。歌も楽しかったです。ありがとうございました。(なすりべか 8歳)

・楽しかった。特に運動会は楽しい。雪遊びもおもしろかった。中でボール遊びも楽しかったよ。来年も同じことをしたい。(鍵谷蒼空 9歳)

・雪景色がきれいでした。雪が私のふとももぐらいまでつもっていておどろきました。そこですべったソリ遊びが最高でした!! 中でも友達とつなげてすべったソリが楽しかったです。LITの人達がとても優しくかったです。私も14歳になったら、やってみたい!と思いました。(関川夏生 12歳)

・みんなでさんびしたり、遊んだりできてよかったです。(小畑望 9歳)

・雪が足に入っちゃってやだった。5さいのこがっばいでびっくりした。みんなにやさしくしてもらってうれしかった。らいねんもゆきあそびしたい。(ふじもとみちこ 5歳)

・楽しかった。フィリップ先生の話がよかった。(小此内諒矢 13歳)

・今回初めて白馬に行きました。ソリすべりや雪合戦やクッキー作り、チルミニの運動会がとても楽しかったです。バイキングもとってもおいしかったです。友達と11時までどろけいをやっていました。(藤原佑里子 11歳)

・とても楽しかったです。(鬼嶋愛 12歳)

・ソリとかが、とくに楽しかった。朝食、昼食、夕食もおいしかったです。(石綿慈雨 9歳)



チア・にっぽん **関東合同学習会トライアル 第3回開催のお知らせ!**

ミニ学習会トライアルも、第3回目にトライしてみることになりました。来年1月26日(月)です。月1回程度の学びや、体育、交わりの機会がもたらすと声に応じてこの企画、以下のようコメントをいただいています。

「家庭ではなかなか出来ない経験をさせて頂けて、とても勉強になった。楽しくて、時間があっという間に過ぎました!」「他のホームスクーラーの方々の話が聞けて励みになりました」「大人と子どもと一緒に共感できる時が持てて感謝です」

午前中は、聖書クイズ・賛美&自主学习タイム、午後はこれまでに引き続き、特別講師の藤井一朗さん(九重部屋公認トレーナー)らをお招きしての合同体育の時間を持つ予定です。体育の途中では、親御さん、先生方対象の「年齢別・運動神経を伸ばすための運動プログラムミニセミナー3」(約20分/藤井一朗さん)も予定しています。「我が家でもできる実践編といった感じで、わかりやすく、ためになりました」といった声が多く寄せられ、好評です。3回目の今回は、さらに新しい実践例が紹介される予定です。どなたでも大歓迎です。ごぞってご参加ください。



日時: 2009年1月26日(月) 開場…午前10:00 スタート…午前10:30 (終了予定時刻 午後3:00)

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・代々木)センター塔309号室 集合

スケジュール: 午前中は、普段使っているそれぞれの教材で自由学習。午後は、体育の特別クラス。

特別講師: 藤井一朗さん(予定) <米国公認スポーツトレーナー、九重部屋公認トレーナー>

対象: どなたでも大歓迎です。積極的に、ご参加ください(ベビーシッター等はありませんが、赤ちゃん等一緒に参加でOKです。気分転換どうぞ!)

持ち物: 普段使っている教材、その科目の参考書(もし、急に質問があっても、誰か親御さんやチア・スタッフがその場で答えられるように:-)) 筆記用具、体育館シューズ、運動できる服装

参加費: 大人(中学生以上) 700円 + 590円(食費実費)

小学生以下 500円 + 540円(4歳以上は食費実費)

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払いください。

郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 (普) 1746716 ホームスクーリング・ビジョン(株)

2009年1月26日(月) 第3回関東合同学習会 参加申込書

ふりがな	(携帯)		
代表者ご氏名	お電話		
(〒)			
ご住所			
参加費 大人(中学生以上) 1290円 × ()人	子ども(4歳以上) 1040円 × ()人		お支払い方法 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行振込
子ども(3歳以下) 500円 × ()人	合計 ()円		
参加者ご氏名&性別&年齢			
ふりがな			
男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳	
ふりがな			
男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳	

メール&ボイス

稲葉さん、ジョセフ君のお誕生本当におめでとうございませう！ニュースレターの写真から、ご家族みなさんで大切に育てておられる様子が伝わってきました！ところで今年は白馬に行けず残念でした(>_<)。なので、CDを注文します。それから、感謝をこめてご報告させていただきたいことがあります。以下は主人からです。

11月13日に旧司法試験の発表があり神様の恵みにより合格することができました。稲葉さんをはじめ、チアのスタッフの皆様にはいつもお祈りとお励ましをいただき本当にありがとうございました。次男が生まれ、法科大学院に通いつつ受験勉強でしたので今までになく忙しい中で合格できたのは本当に神様のみ業としか言いようがありません。今後は今期限りで法科大学院を辞め、4月より司法修習生として研修がスタートします。新司法試験の影響で弁護士が増加しているためまた就職が厳しい状況ですとお祈りいただけたら幸いです。

A夫妻

ハレルヤ！

ウルトラ級でうれしいニュースをありがとうございます！おめでとうございます！！よかったですねー。本当にうれしいです。去年のAさんたちの赤ちゃんの誕生に加えて、ビッグニュースですね。司法試験合格、本当にほっとされてるでしょうね。自分のことのようにうれしいです。よくがんばられました。チャーチ&ホームスクーリングを深く理解され、本格的に実践されている弁護士さんの誕生は、日本で稀有のニュースかなーと思います。神様を賛美します。これからの導きをますます祈りますね。

ジョセフや和紀子へのお祈りも感謝。こちらも続けてお祈りください。おかげさまで、今年の白馬もとても祝福され、幸いなときとなりました。

祝福を祈りつつ 稲葉 寛夫

キリスト教会のイベントで舞台裏にいる機会はよくありましたが、チアの集会は、スムーズに、どのような教会のイベントよりも主に感謝しながら行われているのに驚きました。参加者が正直に生きている姿を見ることができとても新鮮でした。人間的な計画でやっているのではないなと思います。(白馬にて) あれだけ多くの団体が、ほとんど詳しい打ち合わせもなく、設置と撤去を繰り返していることにも本当に驚きました。主の働かれることには自由があるとは、こういうことなのかと思いました。今、講演CDの編集を進めています。チアの働きに少しでもお役に立てればと思って、楽しみながらこの作業をしています。チアのサポートがなければ、現在も我が家でホームスクーリングをしているか分かりません。チャーチ&ホームスクーリングを始める人がこれからは起こされるでしょうから、そのお手伝いができると思うと、とてもうれしいです。

在 主 豊田 肇



ハレルヤ！。今年も白馬の時期が迫ってきましたね！（昨年が初めての参加でしたが・・・）昨年の白馬から戻ってすぐに新たないのちを授かりまして、去る9月13日に無事出産いたしました。名前は詩篇1

9：1～4より『響』（ひびき）と名づけました。3歳のムスメと2歳のムスコに併せて、どうぞよろしくお願いたします。

奈良 稲村 直喜

いつもありがとうございます。チアにっぼんの読書感想文に出品させていただいて、スクールに賞状と図書券が沢山届きました。ありがとうございます。

早速図書券を、使わせていただきたく思っています。よろしくお願いたします。

ハレルヤインターナショナルスクール

祈って頂いておりました主人の父ですが、輝いて天に召されて行きました。勝利者として信仰の生涯を全うした義父を誇りに思います。月曜日に告別式を終えたので、白馬には行けるのでは…とギリギリまで迷いました。子ども達が「一人になっちゃうおばあちゃんの側にいてあげた方がいいんじゃない？」と言ってきました。私は迷い、私と子ども達だけでも行こうかと思ったのですが、長男が「苦しんでいる家族がいるのだから、今年はおきらめよ」との言葉でした(涙)。それで、私も白馬おきらめました。m(_)_m せっかく楽しみにしていたのですが、義母の側にしようと思います。m(_)_m子ども達があんなに楽しみにしていた「白馬」を悲しんでいるおばあちゃんの為にあきらめてくれたのは、私達にとって大きな驚きと喜びでもあり、これがホームスクーリングの実なのかなあとも、感じた出来事でした。

神奈川 梶山志津

ハレルヤ！チアの活動が祝され続けていることを、レター等から読み取っています。チアに申し込んでから、二年がたちました。新しい一年の会費を、二冊の本の代金プラスαとともにお送りしました。三浦綾子さんの「したきりすずめのくりすます」を一冊と、「社会性のワナ」を一冊、送っていただけますでしょうか。会費五千円と、領収書不要の献金として扱ってください。宜しくお願いたします。

Bさん

第3回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会 白馬セミナー08にて授賞式開催！

第3回目となる今年のチア・にっぽん杯読書感想文大会には 総勢62名の方がご応募くださいました 本当ありがとうございます！ 素晴らしい力作揃いに スタッフ一同、感動しながら読み進めました 白銀の世界広がる白馬セミナーの中で執り行われた授賞式には 応募者の半数以上の方が全国各地から出席してくださいました
今回は、そのうち「チア・にっぽん最優秀賞」を受賞したお2人の作品をご紹介します

チア・にっぽん最優秀賞 (小学生の部) 「エイミーの台湾日記」を読んで 森 美月 (富山)

この本を読んで、どこの国でもいじめは、同じようにあるのだなぁと思いました。

私がもしジェシカのようにクラスのリーダーになったら、高慢になって、言うことを聞かない人がいたら意地悪をするようになると思います。

人気者になり、なんでもかんでも自己中心に動いても皆が言う事を聞いてくれたら、いつの間にかこうするようになると思います。

私は転校した事もないし、他の国の学校に通った事もないので、自分がエイミーだったらどうしたかなぁと考えてみました。

言葉もわからない国に行って知らない人に声を掛けたりして、すごいなぁと思い感動しました。

エイミーのすごく偉いと思った所は、人に親切にして、人を助ける所です。

エイミーは、新しく転校して来たばかりなのに、友だちの言いなりになるのではなく、皆の反対意見でも自分の正しいと信じた事をする勇氣に、良くやったと感心しました。

私もエイミーのように、皆がイヤがっている人でクラスで一人で居るような人でも、正しいと思う事を親切にしたり、助けたりしたいと思います。

自分に無い部分を強く持っているタイプの人を、イヤがるのではなく、神様が正しいとされる事をする事だと思います。神様が喜んで下さるからです。

だけど、それは周りを見たら、すごく勇氣のいることですが、恐れでも選んで行きたいです。

ジェシカは人気者でリーダー的な存在なのに、グループの誰にも自分の心の悲しみを正直に話せる人がいなくて、エイミーに話しているのを読んで、ちょっと寂しいなぁと思いました。

私もジェシカと同じく、両親が離婚して、母と一緒に暮らしています。

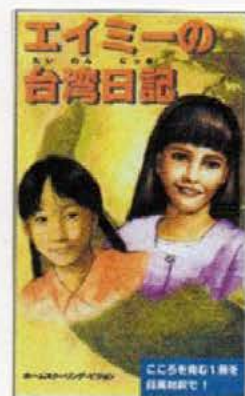
父の日に、保育所で先生に「あ！ みづきちゃんは、お父さんがいないから、お母さんの絵を描いてね」と言われた言葉が、私をととてもみじめな、悲しい思いにさせ、小さな心にずっと残る出来事となりました。

なぜなら、父とは一緒に住んでいないけど、私によく会いに来て、一緒に遊んでくれ、私を大切にしてくれていた事を知っていたので、父の顔を描けないはずがないのに……。何の問題もなく描けたからです。

けれど今になって分かったのは、どんなに悲しくても、つらくても、これは神様の恵みで必要なのだと知りました。この中だから、小学三年からホームスクーリングをする事が出来たし、神様が私の魂を導いて下さっている事を知りました。感謝です！ 主に近づく為の私の主の計画をただ感謝します。



チア・白馬セミナー08の中で行われた読書感想文大会の表彰式。



『エイミーの台湾日記』
ホームスクーリング・ビジョン刊
定価1575円

チア・につぼん最優秀賞（中高生の部）

「殉教」を読んで

伊藤 詩音（千葉）

私がこの本と出会ったのは、一年前でした。その時は、タイトルに惹かれたのと、殉教者がどんな信仰を持っていたのか知りたいと思い読みました。私は、信仰の先輩たちにショックを受けました。一年後にもう一度読んだとき、自分の宣教に対しての思いや考え方が間違っていたことに気づき、悔い改めさせられた体験があったので、この本の感想文を書くことに決めました。

私が特に励まされ、自分とは正反対の聖い生活をしていることにショックを受けた殉教者は二人です。

まず、新約聖書の一番初めの殉教者、ステファノです。彼は、若く信仰に満ちた人でした。説教をした後、人々は激しく怒り、彼は石打の刑にされました。その時、彼は聖霊に満たされて、「天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」と言いました。ステファノは、死ぬことを喜びとし、これから失われるものではなく、永遠のものを見ていたのです。

また、初期の教会の殉教者、ポリュカルポスにも励まされました。教会に五十年以上仕えてきた彼が迫害を受けたとき、九十歳を超えていました。ローマの官憲が、ポリュカルポスの仕えていた教会に激しい攻撃をしてきました。信徒は、彼が身を隠すべきだと考え、彼は町を離れました。ポリュカルポスへの捜索は日ごとに強まっていき、ついに彼の居場所が知られてしまいます。捕えられた後、自分の信念を撤回するよう説得されましたが、彼はこう答えたのです。「私は八十六年間、神の僕でした。神は決して、私に悪いことをなさいませんでした。なぜ私は、私を救って下さった私の王を辱めることができるでしょう。」この素晴らしい信仰告白によって、彼は火炙りの刑で殉教の死を遂げました。また、彼は殉教の死にあずかる特権を受けたことを感謝していたのです。

私はこの二人の証を読んだとき、彼らの信仰にとっても励まされましたが、それよりも驚きました。なぜなら、私は“死”を“恐怖”や“痛み”とばかり考えていたからです。どの殉教者の証を読んでも、皆、天に目を向けて喜び、神様に感謝していました。それは、迫害を恐れず、死を覚悟して福音を語っていたからです。また、神様が旧約聖書に殉教者の証を備えて下さって、それによって死が一人ではない、殉教の死は福音をさらに広げる働きがあると励まされたのです。

クリスマスの時、私は未信者の友だち何人かに聖書を渡しました。渡す前に、「福音を語るタイミングを教えてください」と祈ってから、友だちの所へ行きました。神様は、確かに福音を語る環境を与えて下さいましたが、私は語るできませんでした。それは、自分にこの世と調子を合わせてしまう罪、迫害を恐れ、福音を恥と思う罪があったからだと聖書を読んで気が付きました。私はその後、悔い改め、この本を読み返しました。パウロはこう言っています。「現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると、取るに足りない」とわたしは思います。」また、イエス様は私たちに命令しています。「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしてください。」これは権威ある主イエスの命令で、私たちはNOと逆らうことはできません。これらを思ったとき、私は迫害をいっいち恐れず、未信者に福音を語り、証ししていこうと思いました。今の苦しみはちっぽけなもので、それに対して素晴らしい報いがあると聖書に約束されています。

私はこの本を読み終わった後、自分の中で“死＝喜び”と変えられました。また、「私に福音を大胆に語る有機とチャンスを与えて下さい」と祈るようになりました。「私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです。」こう信仰告白をしていく者に変えて下さるよう祈っています。この本と出会わせて下さった神様に感謝です！



「殉教 - 信仰の圧倒的な勝利」

スコット・アンダーソン

&ダン・クルーバー著、辻潤訳

ホームスクーリング・ビジョン刊

定価1,280円

「なぜ、苦難が許されるのか。彼らは、なぜ喜びをもって殉教し、圧倒的な勝利へと向かったのか。私たちの人生に勇気と神の知恵があふれます！ キリストを中心にするると人生が変わる！」

2008・2009年チア・にっぽん カレンダー

- 1月11日(予定)
ロサンゼルス・シロアム教会(バサデナ市サンディーニ四方牧師)
TEL 818-599-6921
- チアにっぽん関東合同学習会トライアル(来年度は予定)
 - ・09年1月26日(月)
 - ・2月16日(月)
 - ・3月16日(月)
 - ・4月20日(月)
 - ・6月29日(月)
 - ・7月17日(金)
 - ・9月26日(土)
- ◆国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・代々木)
- チア・コンベンション2009
 - ・関西 5月22日(金) - 23日(土)
生駒聖書学院(奈良県生駒市磯口町951、<http://ibcelim.com>)
 - ・東京 5月29日(金) - 30日(土)
国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京都渋谷区代々木神園3-1 <http://nyc.niye.go.jp>)
- <日程調整中のセミナー>
- J-HOUSE(大阪・大阪市)
TEL 06-4709-7040
- 恵泉キリスト教会関宿チャペル(千葉・野田市)
TEL 04-7196-2831
- ガッツキングダム・クリスチャンスクール
(東京・江戸川区) TEL 03-3656-7859

第9回GLEEM 5カ月ホームステイ in カナダ

<5カ月春のプログラム>

出発: 1月17日

帰国: 6月7日(現地は6日出発)

この春のプログラムに、日本から工藤光多君、笹山公平君が参加します。いつもI.Tで活躍する2人、工藤君は初めて、笹山君はお姉さんの麻衣さん(第3回参加)に続いての参加です。ぜひお祈りください!

第8回参加中の阿部真歩さん、永遠君たちは23日、帰国予定です。白馬セミナーに参加したご両親の阿部俊之さん・寿子さんは、「すごい感謝です。いろいろな経験の中で、成長しているようです。続けてお祈りください」とのことでした。

第10回以降は、今のところ、例年どおりの7月スタートの5カ月間の予定です。10カ月間はGleem側の事情でキャンセルとなったと連絡が入っています。通常の5カ月プログラム第10回Gleemの出発日等は、決まり次第発表します。ぜひチア事務局にお問い合わせください。

◆◇ クリスマス特別期間 ◇◇

チア・メンバー年会費、お忘れの皆様、ぜひ、思い出してください!!
新規の皆さんも大歓迎です!

この機会に、ぜひ、ご加入ください!一緒にチャーチ&ホームスクーリングを展開していきましょう!もしかして、お振込等お忘れの皆様、ぜひ、お申し込みください。カードが未着の方は、事務局にお問い合わせください。

会員になると、様々な特典があります!チアの書籍、DVDなどが、なんと10%オフ!!このほか、コンベンション、サマーキャンプ、白馬セミナーが、会員割引価格で参加できます。

ご入会、お振込みの皆様には、チア・メンバーカードが送付されます。コンベンション、サマーキャンプ、白馬、ミニ学習会らには、ぜひチア・メンバーカードをご持参ください。書籍等が会員価格で購入できます。

忙しくてなかなか郵便局までご入金に行く時間の取れない方、ご要望が多かった「クレジットカード決済」でも年会費をご入金いただけるようになりました!
www.cheajapan.comまでどうぞ!

会費 (1) 個人メンバー 年間 5,000円
(2) 団体メンバー 年間10,000円

郵便振替が便利な皆様、チアの働きを皆様のミニストーリーの一つとして考えて、尊い献金を支えて下さる皆様、どうぞ、こちらにお願いします。

郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

「したきりすずめのクリスマス」より
「したきりすずめのクリスマス」
作品の中から見える綾子の思い
 三浦 光世

妻、綾子の著作は、小説と随筆を合わせて93冊に及ぶ。その中に一編の戯曲がある。「珍版舌切雀」と題する。(今作品、「したきりすずめのクリスマス」と改題となった)この戯曲について、綾子は次のように書きのこしている。

「この一九八一年の仕事の中で、特筆すべきものに『珍版舌切雀』と題する戯曲がある。戯曲といういかにももったいぶった言い方になるが、この『珍版舌切雀』は、私には初めての脚本で、それなりに力を入れたつもりであった。

話は早くから持ちこまれていた。おそらく夏の初めには求められていたと思う。『今年の旭川市民クリスマスに、キリスト教をやさしく、子供にもわかる、興味深い劇にして上演したい。その脚本を一つ書いて欲しい』との、旭川市内のキリスト教会連合会からの提案があった。

これを受けて、いつから実際に手をつけたか、もはやさだかではないが、脚本にもとづいて劇の練習をする時間が要るわけだから、十一月までには書き上げていたのであろう。所要時間が前後の歌や挨拶を含めて一時間半そこそこの短い劇であるが、今自分で読み返してみても、なかなか楽しくできている。

第一頁は、型通り『登場人物』である。舌切雀(チイ子)、おじいさん、おばあさん、雀(A~H)、かかし、サンタク

ロース、強欲おばけ、意地悪おばけ、やきもちおばけ、傲慢おばけ、イエス・キリスト、牧師、子供、殺人犯、ヨセフ、マリヤ、三人の博士、羊飼いの二人などの名詞がつけられている。ヨセフ以下は『活人画』と括弧を付してある。

珍版ではあるが『舌切雀』である以上、おばあさんが舌を切る場面もあるし、おじいさんが軽いつづらをもらってくるころも、おばあさんが重いつづらをもらいに出て行くところも出てくる。

私は本来の『舌切雀』の物語に、クリスマスをかからめ、イエス・キリストを登場させた。」(三浦綾子著『明日をうたう』)

妻は以上のようなことを書いていて、つづいて、おばあさんの欲深い心の状態をキリストが指摘する場面を書いている。

このおばあさんにくらべて、おじいさんは自分は欲深くないと言う。且つ、何一つ罪を犯さず正しく生きてきたと宣言する。これに対してキリストは、

「おじいさん、世界中に全く正しい者は、ただの一人もありません」

と言われた。傲慢の罪を指摘されたわけである。キリストはすべての人の罪を救うために死なれた。「珍版舌切雀」は、実にこの点を伝えたかったと言える。これが綾子の思いと言ってまちがいない。

綾子は、この作品を、とても喜んで書いていたと記憶している。日本の童話がベースということもあり、子どもたちへの特別な思いも込めて書いていた。綾子は、子どもたちへの思いを以下のように記している。

「…わたしはやはり、もっともっと子供たちによい童話を与えてやりたい。特に心に沁みとおる物語を。よく、「時代



写真提供：近藤多美子(フォトステージ遊きりん)

がちがう」とか、「今の子供たちはそんなものは好まない」などと聞くのだが、子供たちの魂は、大人が考えているより、はるかに柔らかく、みずみずしく、美しい夢を吸収できるものなのだ。」

その執筆後、27年あまりの時を経て、「したきりすずめのクリスマス」として出版されることになったごとを、私は心からうれしく思う。出版にあたり、みなみななみさんが、素敵な絵の数々を作画くださり、絵本としてくださった。星野富弘さんからは、温かい推薦のことばをいただいた。また、ホームスクーリング・ビジョン社の稲葉寛夫氏に、深い感謝を覚える。稲葉寛夫氏は、NHKディレクター時代に、綾子の日々を4年に渡って取材、NHKドキュメンタリー「光あるうちに—三浦綾子・その日々—」として放送、その後も公私に渡り親しく交わりくださった。そんな中で、今回の出版の道を開いてくれた。

「したきりすずめのクリスマス」は、綾子の93作品の中で、最後の単行本となる。今回の作品を通し、多くの方々に、特に次世代の方々に、綾子の作品にさらに深く親しむきっかけとなってくれればとも願う。皆さんへの祝福の祈りを覚える次第である。

著者紹介 三浦 綾子 (みうら あやこ)

1922年、北海道旭川市生まれ。小学校教師を7年間務める。敗戦後の1946年、軍国主義教育を行った自責の念から退職。その後、不治の病とされた肺結核を発病、のち脊椎カリエスを併発し、13年間の闘病生活をおくる。1952年、病床にて、クリスチャンとなる。三浦光世氏と婚約後の1959年、病が癒され、結婚。1964年、朝日新聞1000万円懸賞小説に「氷点」入選。同作品は、映画化後、TVドラマ化され、連日40%あまりの高視聴率を記録した。その後も、帯状疱疹、直腸ガン、パーキンソン病ら多くの病と闘いながらも著作活動を続ける。「キリストの愛とゆるし」、「原罪」ら、聖書のメッセージをテーマに90あまりの作品を執筆、数多くのベストセラー作品を生み出した。1999年10月12日、逝去(77歳)。

主な著書：「氷点」、「塩狩峠」、「道ありき」、「自我の構図」、「細川ガラシャ夫人」、「天北原野」、「泥流地帯」、「千利休とその妻たち」、「海嶺」、「生かされてある日々」、「母」、「銃口」など90余冊。「氷点」、「塩狩峠」、「道ありき」らは10数カ国語に訳され、広く読まれている。

イラストレーター紹介 みなみ ななみ

文も書いて翻訳もするイラストレーター。東京生まれ。武蔵野美術短大卒。バイオラ大学へ留学。著書に「信じてたって悩んじゃう」、絵本の翻訳に「きみのままでいいんだよ」「ワンダフル！」(いのちのことば社)ほか。共書に「世界と地球の困った現実」(明石書店)、絵本「ゴンドールのやさしい光」(自由国民社)また共訳書、「チャイルド・トレーニング」、「社会性のワナ」、「聖書7」(ホームスクーリング・ビジョン社)ほか。



英文 アーデン・ルイス (Arden Lewis)
女優、台本作家、ディレクター、そして教師としてニューヨークのハロルド・クルーマン劇場やオハイオ劇場、ロサンゼルスシアターウェストやシアター・ジオ等で活躍。彼女の制作した「リトル・ロンダ」は、NY、LA等で広く演じられ、映画化権も買い取られている。また「グランマ・グッド」は、ピバリーヒルズ・シアターギルド賞ほか、受賞多数。UCLA大学演劇科卒。

「したきりすずめのクリスマス」注文書

FAX 03-5155-9213 or 036-862-8648 または郵送

お名前

お電話

ご住所 (〒)

注文冊数 () 冊 × 1,680円 (通常価格)

注文冊数 () 冊 × 1,512円 (会員価格)

※5,000円以下のご注文の場合、遠隔地は別途、送料がかかります。

問い合わせ先：チア・にっぽん事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-17-32-201

TEL 03-5155-9212 FAX 03-5155-9213

www.cheajapan.com

皆さん自身の戦略的&大切なミニストーリーとして ークリスマス特別献金のお願い

今年、1年、いろいろとありがとうございました。コンベンション、キャンプ、白馬、ミニ学習会、マガジン、「したきりすずめのクリスマス」の刊行、そして、毎月のニュースレターほか、一つ一つに主の御手とチア・スタッフたちの献身的な働き、そして、皆さんのご支援を心から感謝しています。経済的にも、この1年、守られたことが感謝です。ただし、ぎりぎりはぎりぎり、祈りのリクエストとクリスマス特別献金の呼びかけをさせていただくことにしました



無理せずに。お祈りコースもあります

毎回、コンベンション等で、献金等、チャレンジさせていただくときは、必ず、お伝えすることがあります。今、経済的に厳しい方は、どうぞ、無理されず、その分、熱心に、祈る方に回ってください。祈ることの大切さを特に最近、再確認させられています。チアの会計においても、それは力です。今、会費の支払い等、難しい方は、どうぞ、無理されないでください。でも、できるようになったら、ぜひ、優先的にお願いします。どうしてもできずに、天国にいった場合は、その時はしょうがないですから、天国でお礼に来てください。いつも、このように話させていただいてますが、今回も同じです。主の山に備えあります。今、年会費や自由献金等、可能な皆さんは、ぜひ、これは主が用意して下さった不思議なほど、意義あるミニストーリーだと思えます。額の大小にかかわらず、どうぞ、よろしくをお願いします。:-)

応援してくださっている方々のためにもお祈りください

長い間、広告や献金等、深いご理解と心強い応援をいただいているスポンサーの企業の皆さんからも、最近の経済状況の中、かなり厳しい情報も寄せられ、チアにとっても、経済的には厳しい1年になるであろうとも予想しています。すごいことは、そのような企業の皆さん方は、来年はサポート額は減らさざるを得ないが、ゼロではなく、少しでも多く、ささげようと、皆、おっしゃってくださっていることです。日頃、マガジンやパンフレット、ニュースレター、コンベンション等で見かけるスポンサー社、団体の皆さんへの守りと祝福を、ぜひ、祈り続けてください。みな、長い間、同志として、共に犠牲を払って下さった貴重な皆さんです。

そのような収入減が予測される来年度の計画ですが、マガジン発行は、今年は年3回のところ、新年度は2回に絞らざるをえない状況です。スリム化できるところは、できるだけスリム化して臨ませていただき、でも、根幹となる部分は、なお、積極的に進ませていただこうと思っています。

3つの強い目的のために用いられます

会費、自由献金は、チアの目的に沿って、忠実に用いさせていただければと思っています。チアの活動には、3つの強い、明確な目的があります。(1) 魂の救い(地獄ではなく、天国へ)、(2) キリストの弟子の心を与える(肉に属するクリスチャンではなく、御霊に属する主の弟子へ)、そして(3) 伝道・世界宣教(80才になっても、120才になっても、生かされている限り、天国でできない、地上でしかできない使命、生かされている目的が残されている。それは、伝道。様々な方法で。)この3つの目的からそれることなく、この3つの目的をめざして、一つ、一つの活動が計画し、祈り、皆さんから預かった予算を用いさせていただこうと思っています。永遠の価値をもたらす、天国に宝を積み働きの、根気強く、続けて、仕えていければと思っています。ぜひ、お祈りください。

初心変わらず

霊的に、深いニーズが待っている2009年と思います。もともと、スタートした2000年も、経済的には、逆風の強い年でした。そして、「5人でも10人でも、助けられたら」というのが志で、今日のような大規模な展開は、考えてもみないことでした。来年、10年目に入る今も、思いは同じです。でも、今は、巻頭言に記したとおり、素晴らしい皆さんに囲まれて、また、これから出会う方々も含め、主に委ねられた使命や責任の重さを実感し、感謝しています。この活動を継続し、さらに深めていくために、ぜひ、一緒に、祈りと、力を注いでいただければと願っています。

2009年のチアは、経済的には厳しいと思いますが、霊的には、ものすごく深いニーズと働きが待っている新年であると思っています。皆様ご自身の戦略的&大切なミニストーリーの一つとして、クリスマス特別献金、そして深い祈りを、お願いできたらとても感謝です。どうぞ、よろしくをお願いします。

皆様への祝福が、ますます多きクリスマス、新年であることを祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

クリスマス特価!! 12月31日までの期間限定!

オーダーシート《1》 FAX 03-5155-9213 (郵送可)

No.	タイトル	主講師	主な講演タイトル	(定価)	会員割引価格	一般割引価格	数	金額
1	07白馬セミナー 44講演	グレッグ・ハリス	「なぜ賢明な人々はホームスクーリングするのか」など	¥5,800	¥3,300	¥4,300		
		ソノ・ハリス	「私たちを助けて下さる神」など					
2	06白馬セミナー 44講演	ジョシュア・ハリス	「お母さん、ありがとう!」など	¥6,800	¥4,300	¥5,300		
		ソノ・ハリス	「母親としての聖書の女性像」など					
3	05白馬セミナー 44講演	テッド・ベア	「マスメディアを理解する」など	¥4,980	¥2,480	¥3,480		
		スーザン・ピーティ	「ホームスクーリング神話と現実」など					
4	08コンベンション 82講演	テッド・トリップ	「家族とは何か」など	¥6,800	¥4,300	¥5,300		
		マージー・トリップ	「今からでも遅くない親と子のコミュニケーション」など					
5	07コンベンション 75講演	リック・ボイヤ	「自信に満ちたホームスクーリング」など	¥6,800	¥4,300	¥5,300		
		スティーブン・ローソン	「レガシー(遺産)父が子どもに遺すべきもの」など					
		ジュリー・ホーン	「ホームスクーラーたちが社会で生きていくための"わざ"」など					
6	06コンベンション 67講演	ルー・プリオロ	「子どもの反抗、どう正す?」など	¥5,800	¥3,300	¥4,300		
		ザン・タイラー	「母親の限界と弱点はどのように神に用いられるか」など					

* 別途、送料(実費)がかかります。代金は商品に同封する郵便振替用紙にて、お振込みください。

小計

合計金額

チア・トゥーパツ事務局 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-17-32-201 TEL: 03-5155-9212

フリガナ	フリガナ
お名前	教会名 または 学校名
フリガナ	電話番号
〒	
ご住所	